

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 講座主任 安村 誠司

【研究課題名】 「原子力災害の避難区域における自殺死亡率の動向と対策への考察」

【研究期間】 平成 28 年 10 月～平成 32 年 3 月

### 【研究の意義・目的】

- ・ 大規模災害後には被災地の住民の精神的な不調を来すと言われており、その結果被災地内での自殺死亡率の上昇が懸念されています。2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、地震や津波による被害のみならず、東京電力福島第一原子力発電所事故による原子力災害も加わり、地域住民のメンタルヘルスに多大な影響を来していることが想定されます。さらに、避難区域に指定されている市町村においては、区域内の住民への仮設住宅の供与期間も未定でさらに長期間におよぶ避難生活を強いられ、結果的にメンタルヘルスの悪化および地域の自殺死亡率が上昇することが懸念されます。
- ・ したがって今回、人口動態調査の死亡票を基に、原子力災害の影響により避難区域に居住していた住民のメンタルヘルスにどのような影響を与え、その結果、自殺死亡率にどのような変化をもたらすかを検討し、その対策を立てる上での基礎資料とするために、調査を実施します。

### 【研究の方法】

- (1) 人口動態調査の死亡票の利用申請およびデータ収集を行い、収集したデータを基に分析を行います。
- (2) 得られた結果を踏まえた避難地域のメンタルヘルス対策、自殺対策への考察を行います。
- (3) 収集する項目は下記の通りです。

抽出データ：死亡した人の住所が福島県内で、死因の種類が「自殺」に該当するもの

利用データ：性別、生年月日、年齢、死亡年月日、死亡した人の住所（市町村名）

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	教授	安村 誠司
主任研究者	〃	講師	大類 真嗣
研究分担者	福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座	教授	前田 正治
〃	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 成人精神保健研究部	災害等支援研究室長	鈴木友理子
	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	講師	岩佐 一
	〃	助教	黒田佑次郎

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続が必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○ 研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 担当 大類 真嗣

電話：024-547-1178 Fax：024-547-1183 E-mail：oruima@fmu.ac.jp

○ 個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学総務課大学管理係

電話：024-547-1007 Fax：024-547-1995

○ 苦情の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医療研究推進課 研究推進係

電話：024-547-1825 Fax：024-581-5163 E-mail：rs@fmu.ac.jp